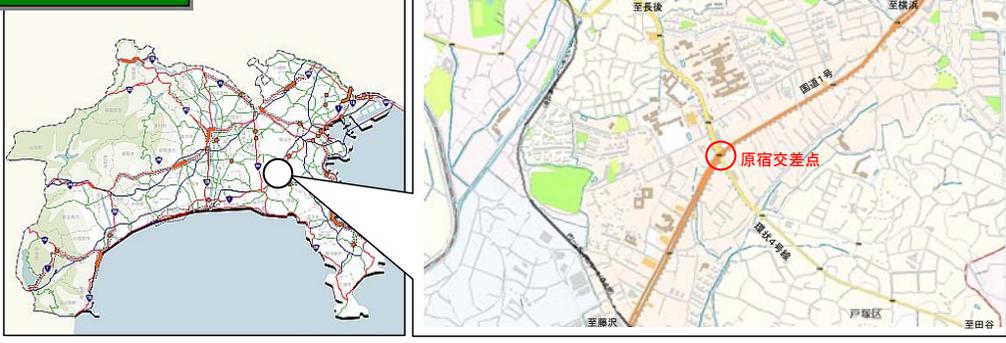


# 対策の実施状況について(Do)(1)

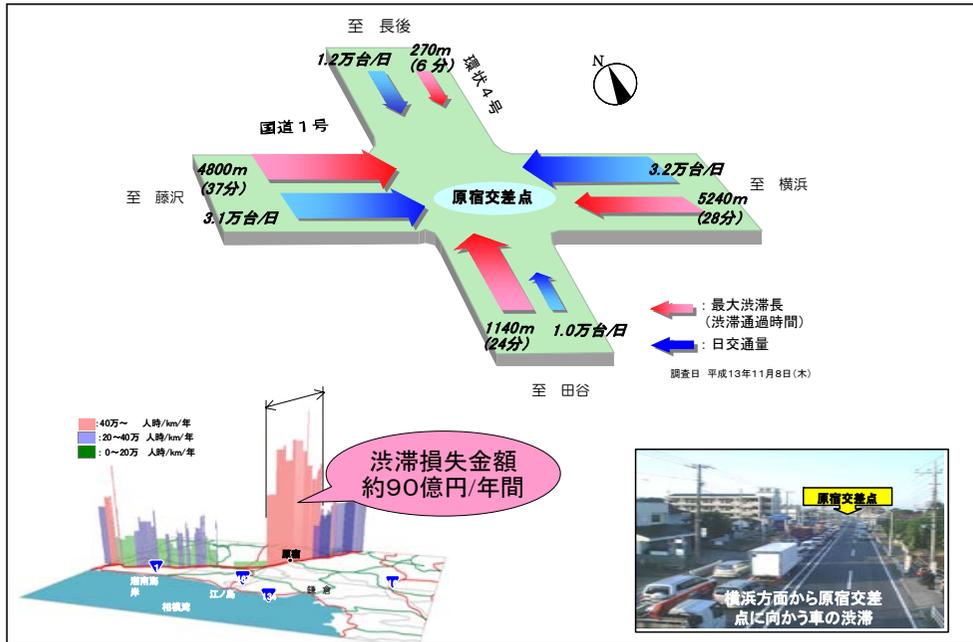
## <事業中の事例> 国道1号 原宿交差点の立体化

### エリア位置図



### 交差点の現状

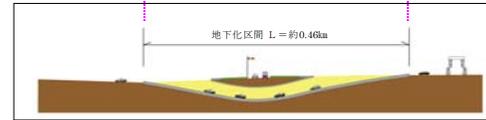
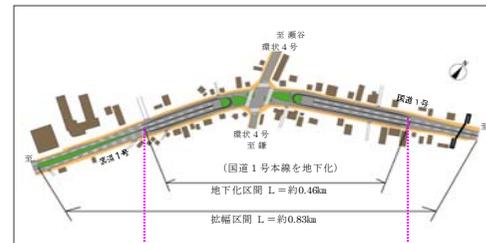
原宿交差点の交通は、国道1号で約6.3万台/日、交差する環状4号線で約2.2千台/日。合計で約9万台/日の交通が交差点に集中することにより、原宿交差点を先頭とした交通渋滞が発生している。



### 対策

原宿交差点立体化事業は、国道1号を地下化することにより交差点に集中する通過交通を分離し、慢性的な交通渋滞の解消並びに交通安全の確保、沿道の実環境改善を図る。

#### ■平面図と縦断面図



#### ■横断面



#### ■完成イメージ



### 事業の進捗状況

- ・用地買収完了
- ・秋頃までに設計を進め、工事着手予定

#### ■写真

下り線(藤沢方面)の渋滞



### 新聞記事

■立体化を伝える新聞記事 神奈川新聞 H18.8.10

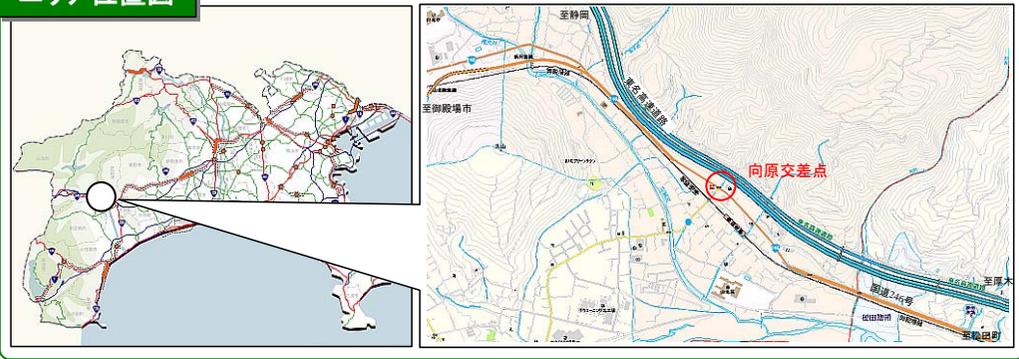
立体化で渋滞解消へ  
県内直轄国道ワースト1の国道1号・原宿交差点現場のオープン化も図る

原宿交差点は、県内直轄国道ワースト1の国道1号と環状4号線が交差する。渋滞は朝夕の通勤時間帯に特に深刻で、ドライバーのストレスも大きい。県は、この交差点を立体化する計画を発表した。立体化により、渋滞が解消され、交通安全の確保も図られる。また、現場のオープン化も図る。立体化は、渋滞解消だけでなく、沿道の実環境改善にもつながる。県は、この計画を積極的に推進していく。立体化は、渋滞解消だけでなく、沿道の実環境改善にもつながる。県は、この計画を積極的に推進していく。

# 対策の実施状況について(Do)(2)

## <事業中の事例> 国道246号 向原改良

### エリア位置図



### 交差点の現状

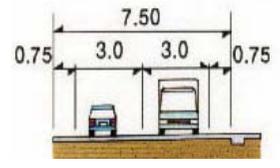
国道246号山北町向原地区は、道路線形不良及び幅員狭小で、歩道未整備箇所であり、約24千台/日の交通のうち、大型車の混入率が約50%(夜間:約65%)と非常に高い箇所であり、道路構造に起因した移動性阻害が生じている。  
また、地域住民の生活道路として利用されている。

現況(線形不良、幅員狭小、歩道未整備)

#### ■現況写真



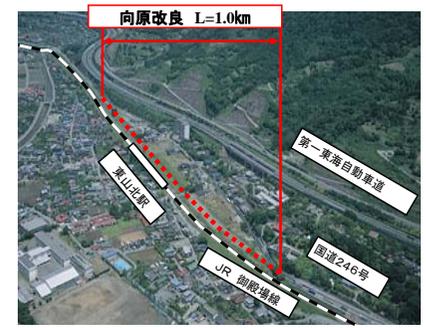
#### ■横断面



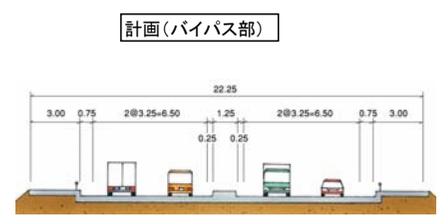
### 対策

向原改良事業は、現国道246号沿道の交通安全、環境改善を図るとともに、通過交通のスムーズ化を目的とした、バイパス事業。

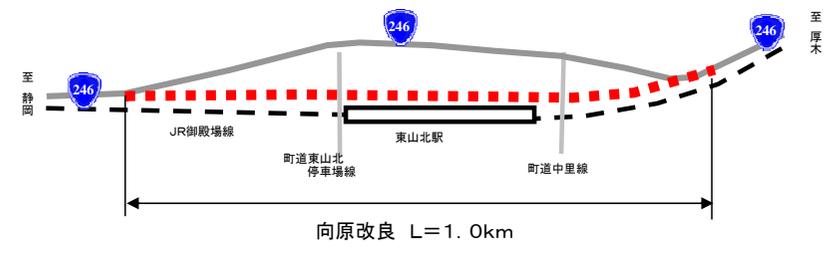
#### ■位置図・平面図



#### ■横断面



※当面は暫定2/4車線整備予定



### 事業の進捗状況

- ・本線部の用地買収完了
- ・現国道246号の歩道が未整備であったため、H18.3にバイパス事業地内に仮歩道を設置し供用開始
- ・秋頃に工事着手予定



# 対策の実施状況について(Do)(3)

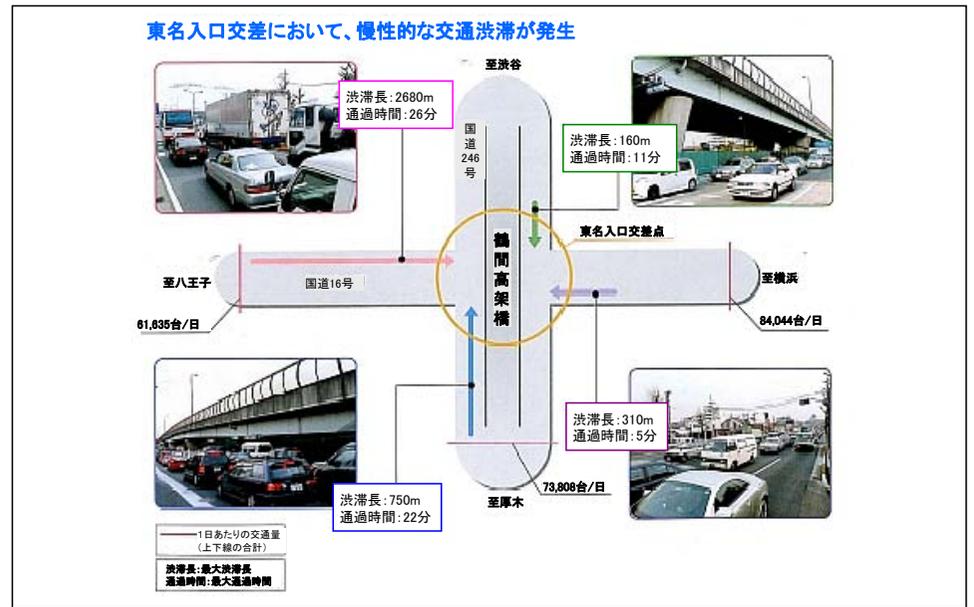
## <事業中の事例> 国道16号 東名入口交差点の立体化(町田立体事業)

### エリア位置図



### 交差点の現状

東名入口交差点の交通は、国道16号で約84千台/日、交差する国道246号で約73千台/日。合計で約157千台/日の交通が交差点に集中することにより、慢性的な交通渋滞が発生している。



平成11年度道路交通センサスによる

### 対策

町田立体事業は、横浜市内においてすでに開通している横浜町田立体(保土ヶ谷バイパス)と直結する自動車専用道路(延長約2.1km)を国道16号の中央部に高架構造で設けるとともに、その導入空間を確保するため現在の国道16号を幅員38m~63mに拡幅する事業である。



### 事業の進捗状況

- 下部工: 全体基数 22基  
うち、4基完成、他8基施工中
- 境川橋改修工事
- 平成22年の立体供用に向け、事業を実施中

■写真2



■写真1

